

坂出市耐震改修促進計画(四次計画) (案) に関するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントを実施した計画案

坂出市耐震改修促進計画(四次計画) (案)

2. パブリックコメントの実施結果について

1) 実施期間 令和8年1月16日(金)～令和8年2月15日(日)

2) 意見受付件数 1人 6件

3. 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1.	P10「市有建築物の耐震化の促進」について 本計画では、市有建築物の耐震化を「促進」とされていますが、実際には、市自身がその趣旨に反する行為を長期間にわたり放置・継続している事例が見受けられます。 具体的には、不当な増築、不当占拠、建築基準法において不適切な可能性のある工作物・構造物・用途・申請の有無、汚水の垂れ流し等が確認されており、無法地帯とも言える状態が是正されていません。 また、現況と異なる現状図を使用した高額な調査、約10年にわたり配管等の十分な精査を行っていないこと(一部の簡易な調査しか行っていないこと)、建築確認申請との明確な齟齬を把握しながらも対応を先送りしてきた経緯があり、市が率先して「うやむや」を重ねてきた姿勢は、耐震化の促進どころか、耐震化に悪影響を与え、市民や民間事業者との信頼関係を大きく損なうものです。市の姿勢をまずは改善してください。	貴重なご意見ありがとうございます。 市有建築物の管理についてのご意見は本計画の対象外となります。 また、市有建築物の耐震化に関しましては、引き続き目標値を達成できるよう努力してまいります。

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
2.	P12「多数の者が利用する建築物の耐震化の指導」について 多数の者が利用する建築物に対し指導を行う立場であるにもかかわらず、市が市自身及び市営住宅の入居者や市営店舗の賃借人に対して必要な点検・是正・指導を行っていない状況が見受けられます。 指導する側が自らの不備を是正しないままでは、計画の実効性は担保されず、市は本来示すべき手本となっていないので、市の姿勢をまずは改善してください。	貴重なご意見ありがとうございます。 市営住宅の管理についてのご意見は本計画の対象外となります。
3.	P12「地域と連携した取り組み」について 市の事業による大型の構造物・工作物・用途、民家と隣接する構造物及び配管等の安全配慮が不十分な状態が放置され、騒音・振動・汚水等の公害が発生しており、地域住民に継続的な迷惑をかけています。加えて、市の事業により、民間の権利を制限・搾取したり、迷惑をかけている状況も確認されます。 その上、地域から声が繰り返し上げられているにもかかわらず、十分に耳を傾けてもらえない実態があり、「連携」とは言い難い対応です。地域との信頼関係を築く姿勢が欠如しています。 地域と連携した取り組みについて、美辞麗句を並べるのではなく、態度で示してください。	耐震化を図るうえで、地域と連携した取組は不可欠であると認識しております。今後はこれまで以上に、地域と連携した耐震化への取組を進めてまいります。
4.	P12「(3)技術者の養成」について 市職員において、法令遵守よりも言い訳や事実や法的根拠と相反する説明が優先されていると受け取られる対応が散見されます。 本来、手本となるべき技術職・管理職が、遵法意識や安全配慮において逆の行動を取っている現状では、技術者の養成を掲げること自体に説得力がありません。技術者の養成の前に、養成において上司が手本となるように、遵法意識について、技術者のみならず、管理職、幹部職員、特別職へ十分な研修を行なってください。	貴重なご意見ありがとうございます。 当該項目は民間事業者における技術者の養成について記載しております。 市職員に対する研修等のご意見については、担当課と共有させていただきます。

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
5.	計画全体について(目標設定の不明確さ) 本計画全体を通じて、耐震化や各種取り組みの具体的な目標値(ゴール:大規模地震の程度や程度による分析)が示されていません。どの程度の災害を想定し、それを乗り越えるための「未来への投資」として何を達成するのが不明確であり、評価や検証が困難な計画となっています。 また、市自身が、耐震化を妨げる取り組みを行なっている疑いのある構造物の建設、数値を困難とする不当増築を容認したかのような事業運営をしていることについては触れられておらず、事実在即した真摯な計画案でないのではないかと、疑問視しています。	目標値につきましては、P8「2. 耐震化の目標」に示しており、被害想定につきましては、P4「7. 坂出市の想定被害状況」に示しております。
6.	全体を通して、本計画は現状認識と実態、市の実務運営や態度との乖離が大きく、美辞麗句を並べただけであり、市の行動は伴っておらず、総じて説得力を欠いています。 市はまず、自らの建築物・事業における法令遵守と安全確保を徹底し、その上で具体的な目標と検証可能な指標、改善策をこれまでの市の不作為を含め隠さずに真摯に示すことで、初めて市民の理解と連携を得られる計画となると考えます。	今後とも市民のご理解が得られるよう努めてまいります。